

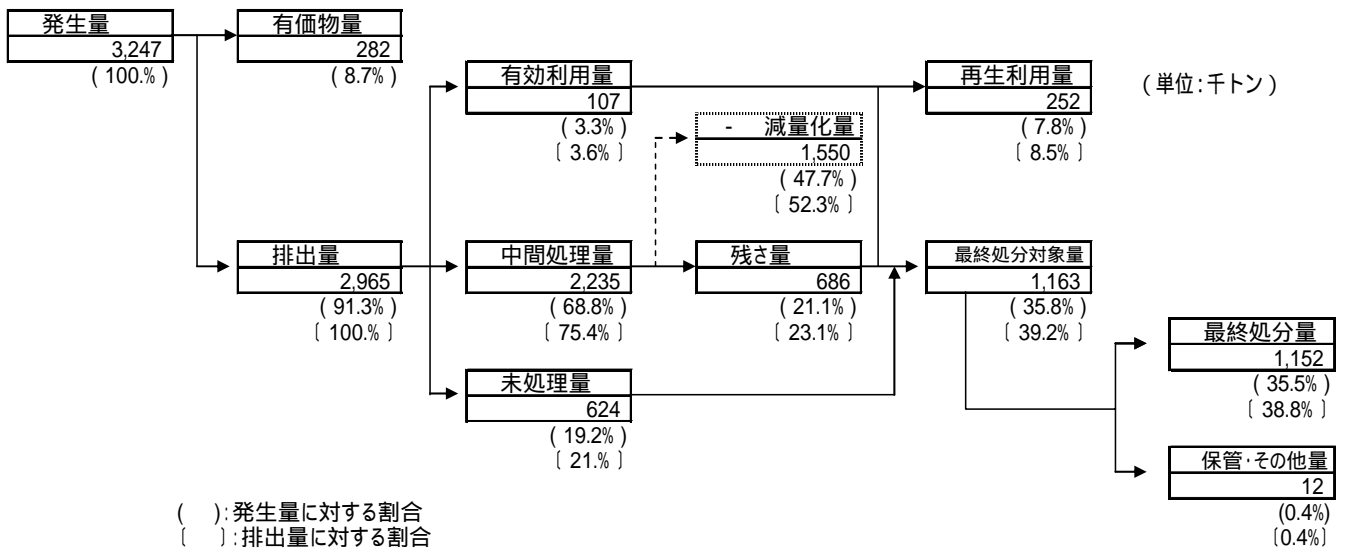
県内の廃棄物の処理状況・事業者数について

(データ)

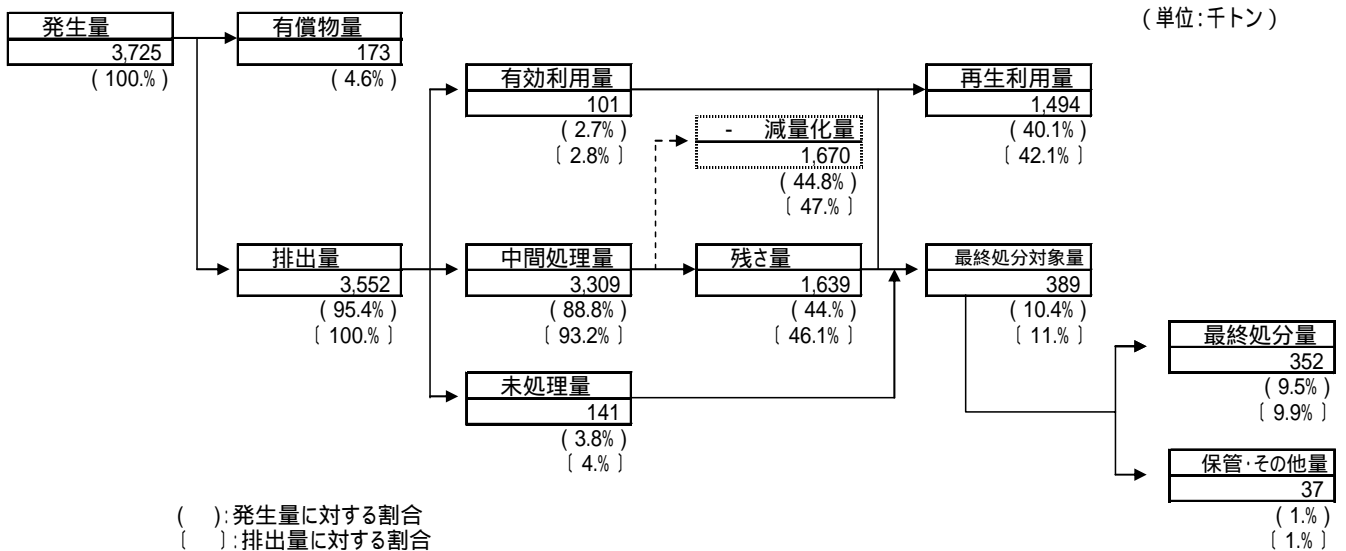
- ・ 「第3次滋賀県産業廃棄物処理基本計画」(平成3年8月制定：昭和63年度データ)
- ・ 「第4次滋賀県産業廃棄物処理基本計画」(平成11年3月制定：平成9年度データ)

1. 発生・処理状況の概要

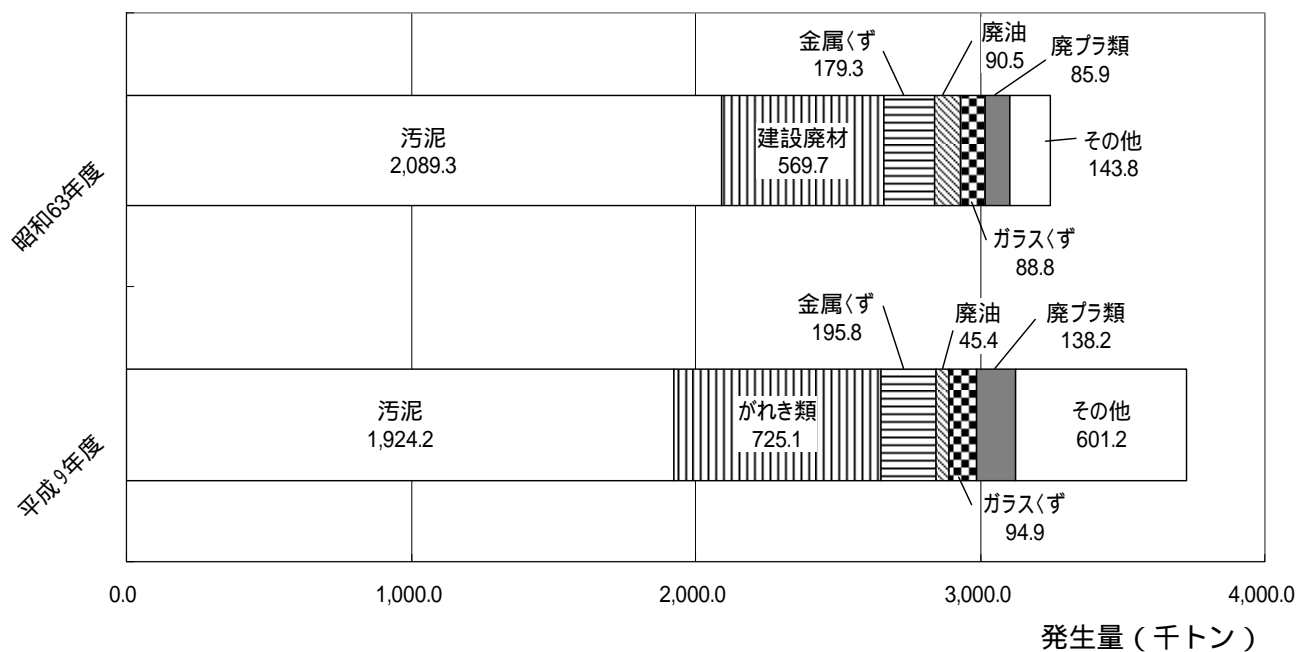
昭和63年度



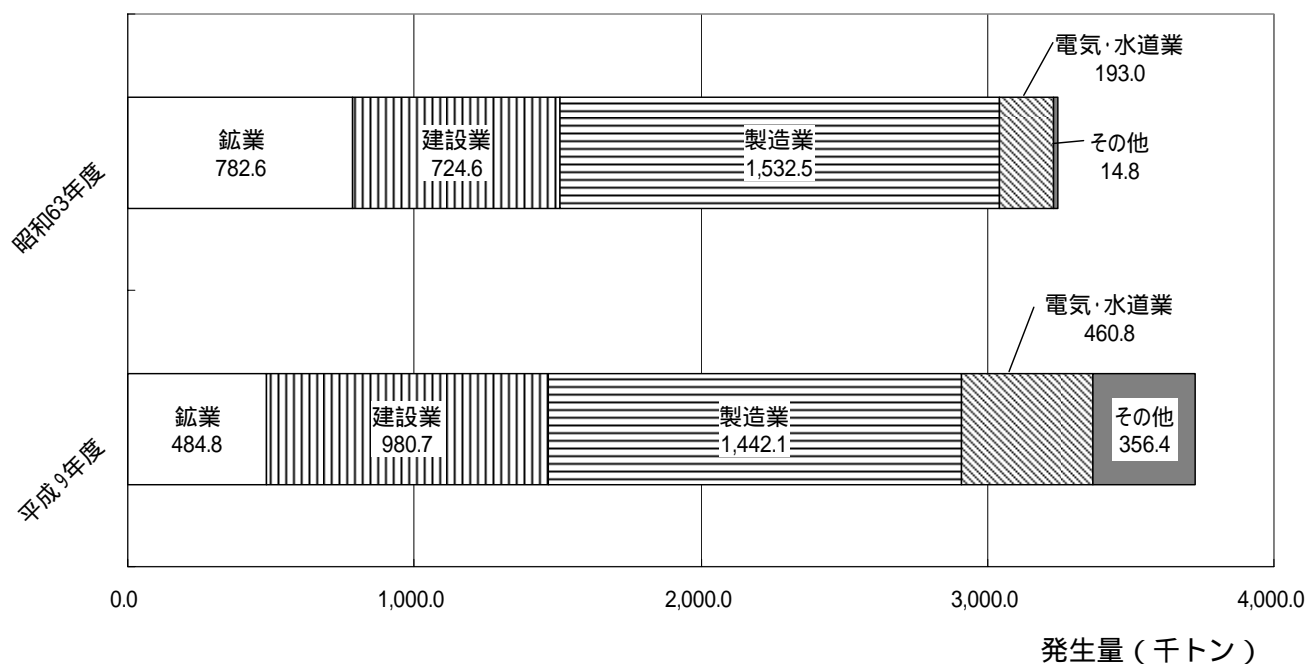
平成9年度



(種類別発生量)

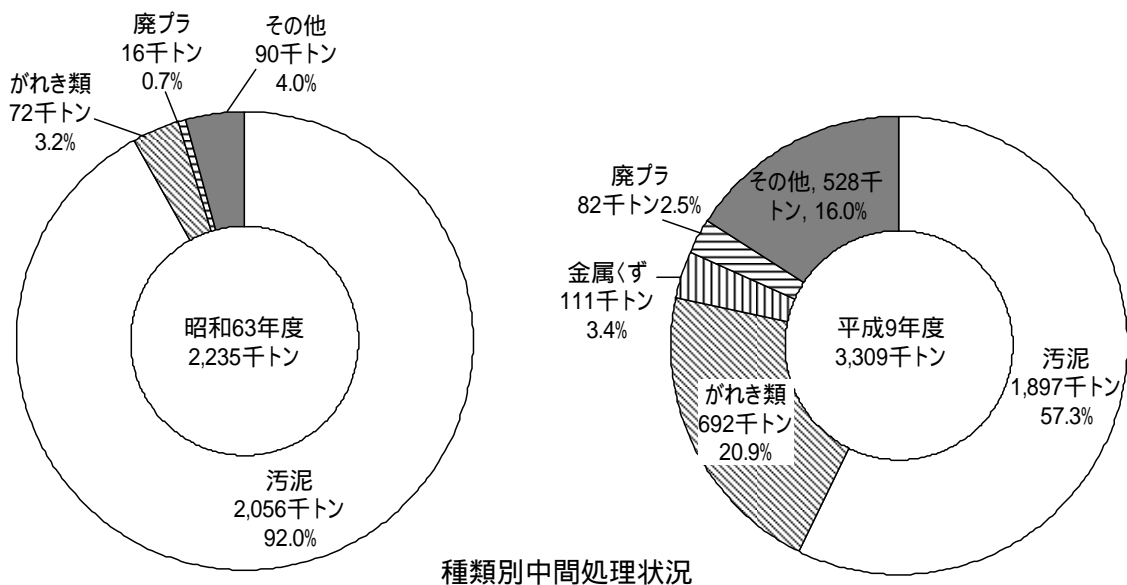


(業種別発生量)



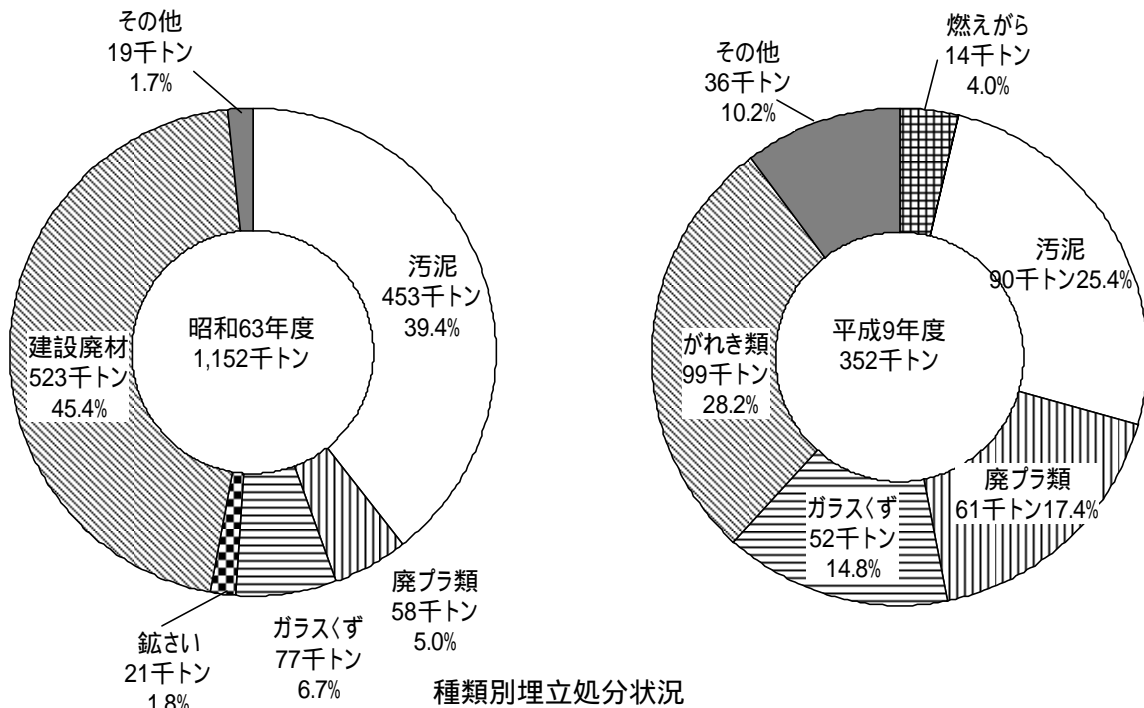
- ・ 平成9年度は、昭和63年度と比較すると、排出される産業廃棄物量は増加しているが、中間処理される産業廃棄物の割合は増加している。
- ・ また、平成9年度においては中間処理による減量や再生利用により産業廃棄物の最終処分量は大幅に減少している。
- ・ 排出される廃棄物は、汚泥やがれき類（建設廃材）が全体の7割以上を占め、業種としては製造業や建設業が大部分を占めている。

2 中間処理の状況



- 中間処理される廃棄物は、昭和 63 年度は全体の 90%以上を汚泥が占めていたが、平成 9 年度は汚泥以外の廃棄物の中間処理の増加が見られる。

3 最終処分の状況



- 埋立処分される廃棄物は、汚泥やがれき類（建設廃材）が主ではあるが、平成 9 年度の汚泥およびがれき類（建設廃材）の埋立量は、昭和 63 年度の 1 / 5 以下に減少しており、このことは埋立処分量全体の減少にも寄与している。

4 産業廃棄物処理業および産業廃棄物処理施設の状況

産業廃棄物処理業者の許可状況

	昭和63年度		平成9年度	
	全体業者数	うち県内業者	全体業者数	うち県内業者
収集運搬のみ	507	121 (24%)	937	282 (30%)
中間処理のみ	1	0 (0%)	11	9 (82%)
最終処分のみ	4	4 (100%)	7	7 (100%)
収集運搬 中間処理	21	16 (76%)	73	61 (84%)
収集運搬 最終処分	16	15 (94%)	6	5 (83%)
中間処理 最終処分	2	1 (50%)	3	2 (67%)
収集運搬 中間処理 最終処分	3	3 (100%)	11	11 (100%)
計	554	160	1048	377

下段()内は全体業者数に対する県内業者の割合

- ・ 平成9年度の産業廃棄物処理業者は、昭和63年度と比較すると倍増している。
- ・ 特に、中間処理業者が著しく増加している。

中間処理施設の設置状況

	昭和63年度		平成9年度	
	施設数	処理能力	施設数	処理能力
汚泥	156	11,640	213	15,666
脱水	145	11,308	198	15,243
焼却	9	302	12	379
乾燥	2	30	3	44
廃プラスチック類	66	308	102	422
焼却	63	247	96	230
破碎	3	61	6	192
廃油	14	1,052	12	944
油水分離	8	988	8	934
焼却	6	64	4	10
廃酸・廃アルカリ	2	208	2	170
中和	2	208	2	170
上記以外の施設	2	-	24	-
計	240	-	353	-

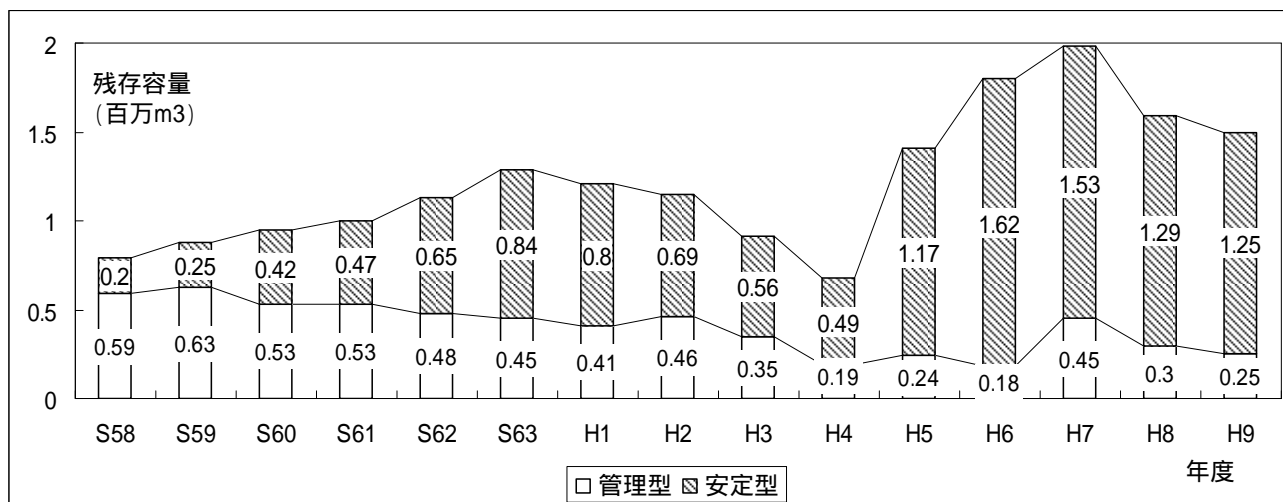
処理能力の単位は、廃プラスチック類のみt/日、それ以外はm³/日

- ・ 平成9年度は、汚泥の中間処理施設が施設数、処理能力ともに増加している。
- ・ また、廃プラスチック類においては、破碎の処理能力が増加しているが、焼却の処理能力は減少している。

最終処分場の設置状況および残存容量の推移

設置主体		昭和63年度				平成9年度			
		しゃ断型	安定型	管理型	計	しゃ断型	安定型	管理型	計
事業者	施設数	1	9	7	17	1	13	6	20
	面積 (m2)	6	77,078	53,478	130,562	6	126,965	58,045	185,016
	容量 (m3)	13	358,566	190,310	548,889	13	747,573	220,503	968,089
	残存容量 (m3)	8	212,731	114,572	327,311	8	207,122	71,990	279,120
処理業者	施設数	0	16	3	19	0	25	1	26
	面積 (m2)	0	206,518	47,072	253,590	0	290,856	47,523	338,379
	容量 (m3)	0	1,110,233	426,520	1,536,753	0	2,086,776	139,305	2,226,081
	残存容量 (m3)	0	507,515	128,703	636,218	0	998,125	25,000	1,023,125
公共	施設数	0	2	2	4	0	1	2	3
	面積 (m2)	0	44,952	42,693	87,645	0	21,756	69,718	91,474
	容量 (m3)	0	131,452	343,564	475,016	0	52,044	525,127	577,171
	残存容量 (m3)	0	107,230	206,197	313,427	0	28,600	155,000	183,600
小計	施設数	1	27	12	40	1	39	9	49
	面積 (m2)	6	328,548	143,243	471,797	6	439,577	175,286	614,869
	容量 (m3)	13	1,600,251	960,394	2,560,658	13	2,886,393	884,935	3,771,341
	残存容量 (m3)	8	827,476	449,472	1,276,956	8	1,233,847	251,990	1,485,845
届出・許可等を要しない施設	施設数	0	5	0	5	0	3	0	3
	面積 (m2)	0	9,299	0	9,299	0	6,744	0	6,744
	容量 (m3)	0	36,563	0	36,563	0	24,627	0	24,627
	残存容量 (m3)	0	14,282	0	14,282	0	14,563	0	14,563
計	施設数	1	32	12	45	1	42	9	52
	面積 (m2)	6	337,847	143,243	481,096	6	446,321	175,286	621,613
	容量 (m3)	13	1,636,814	960,394	2,597,221	13	2,911,020	884,935	3,795,968
	残存容量 (m3)	8	841,758	449,472	1,291,238	8	1,248,410	251,990	1,500,408

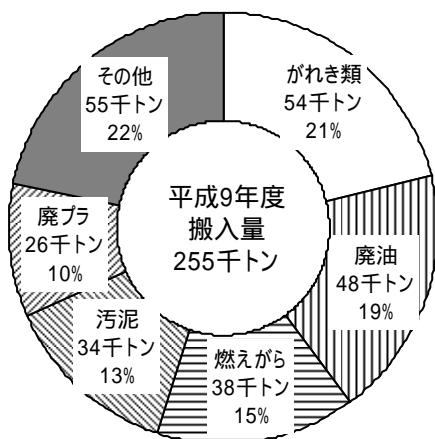
最終処分場の設置状況



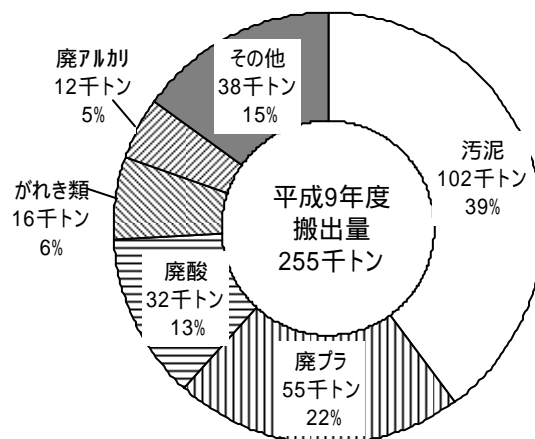
最終処分場の残存容量の推移

- ・ 管理型最終処分場は減少傾向が見られる上、大津市産業廃棄物処理公社（大津市内から排出されたもののみを対象）の施設をのぞくと、全県域を対象に処理できる管理型処分場の逼迫が見られる。
- ・ 安定型最終処分場においては、平成5年～6年にかけて残存容量が増加しているが、平成7年度からは、減少傾向に転じている。

産業廃棄物の広域移動の状況



県外から県内への搬入状況



県内から県外への搬出状況

- ・ 平成9年度において、県外から県内への搬入量と県内から県外への搬出量は、ほぼ同量となっている。
- ・ 搬入量は、がれき類、廃油、燃えがらなどが多く、搬出量は汚泥、廃プラスチック類、廃酸が多い。